

会議録

会議の名称	令和3年度第2回加東市総合戦略策定推進会議
開催日時	令和3年10月22日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	発達サポートセンター「はびあ」2階 多目的室
議長の氏名 (座長 庭瀬 敬右)	
出席及び欠席委員の氏名	
〈出席委員〉	
・松井 敏 ・梶本 望 ・菅原 和久 ・瀧川 智秀 ・中西 光範 ・中野 剛志	
・松本 久美子 ・ライアン 慶子	
〈欠席委員〉	
・梶本 隆介 ・多田 実乗 ・西村 直香 ・森田 啓之	
説明のため出席した者の職氏名	
・総務財政部長 服部 紹吾	
・市民協働部長 土肥 彰浩	
・健康福祉部参事兼健康課長 細川 公代	
・都市整備部長 大畑 敏之	
・教育振興部長 田中 孝明	
・こども未来部長 広西 英二	
・こども未来部参事 後藤 浩美	
・病院事業部事務局部長 堀田 敬文	
・まちづくり政策部企画政策課長 下岡 正裕	
・総務財政部防災課長 三木 秀仁	
・市民協働部生活環境課長 陰山 芳輝	
・都市整備部都市政策課長 長谷川 茂	
・都市整備部土木課長 安則 宏幸	
・教育振興部教育総務課長 菅野 勇一	
・教育振興部生涯学習課長 長田 徹	
・こども未来部小中一貫教育推進室長 柴崎 俊之	
・こども未来部学校教育課長 井上 聡	
・こども未来部発達サポートセンター所長 友藤 由貴子	
・病院事業部事務局経営企画課長 大末 美佳	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
・まちづくり政策部長 小林 勝成	
・まちづくり政策部まちづくり創造課長 山本 幸平	
・まちづくり政策部まちづくり創造課副課長 小林 寿泰	
・まちづくり政策部まちづくり創造課主査 藤原 恵	
〈議題〉	
第2次加東市総合戦略の総括について	
〈会議資料〉	
第2次加東市総合戦略	
加東市人口ビジョン	
令和3年度第2回加東市総合戦略策定推進会議次第	
【資料4】第2次加東市総合戦略総括シート	
〈会議の経過〉	
別紙「令和3年度第2回加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過のとおり	

令和3年12月14日

座長

庭瀬敬右

署名人

松井敏

(別紙)「令和3年度第2回加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
座長	<p>1 開会 2 座長挨拶 3 議事</p> <p>第2次加東市総合戦略の総括について ○基本目標③ 加東の未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくりについて事務局より説明</p> <p>■施策3 かとうならではの教育ブランド構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実現に向けてタブレットの早期整備を進めてきたが、今後、タブレットのさらなる活用に向けてどのように取り組むのか。
参事	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用については、Googleが提供するG Suite for Educationやベネッセのミライシードというアプリを導入し、授業でどのように活用していくかを今研究しているところである。子ども同士の話合いや効率の良い発表方法としての活用など、授業の質の向上に活用できると考えている。
座長 参事	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットで自宅学習もできるのか。また、子ども一人で使えるのか。 ・タブレットで自宅学習もできる。低学年は保護者の付き添いが必要であると考えている。まずタブレットの使い方に慣れることが課題である。
委員 参事	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業に対して教員のスキルは追いついているのか。 ・得意・不得意な教員がおり、その差を埋めることが一つの課題である。学校にICT支援員を配置し、授業での活用の提案や、操作の支援を受けながら、不得意な教員も含めてどのような場面でどのように活用できるかを情報共有しながら取り組んでいる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・通番18語学(英語)指導員派遣事業について、かとう英語ライセンス制度はどのような目的でいつから始まって、どのような成果がでているのか。
参事	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を臆せず話せる生徒の育成を目的とした市独自の事業であり、平成27年に試行、平成28年に本格導入した。加東市の地域資源を活用した会話や作文をしたりするレッスンブック(副読本)も作成している。スピーキングテストがメインであり、先生と生徒が1対1で話す場を設ける中で英語検定を積極的に受験する意識を高めたい。
委員 参事	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学校生活満足度の基準が54.5%であるのに対し、令和2年度の実績は45.3%である。目標値に対し結果が低い理由は何か。 ・「学校がとても楽しい」と回答した生徒の割合を実績としてあげており、

	<p>「楽しい」と回答した生徒の割合を合わせると93.2%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による学校行事の中止や休校が、要因ではないかと考えている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・通番12「いきいき学校」応援事業に取組内容の成果が書いてあるが、数値実績を書いた方が成果が分かりやすいと思う。
座長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考にしてほしい。
室長	<ul style="list-style-type: none"> ・東条学園小中学校について、新校舎が完成していない状態であり旧校舎で開校しているが、本来は新校舎が完成してからの開校となるべきだと思う。社地域では新校舎完成後に開校するスケジュールとなっているのか。 ・東条学園小中学校の校舎建設について、当初は新校舎完成後に開校する予定であったが、入札の不調により工事が遅れ、新校舎完成前に開校する形となった。11月末に新校舎が完成し、3学期から新校舎での授業を開始する予定である。
座長 参事	<ul style="list-style-type: none"> ・社地域小中一貫校については、令和3年度から先行工事を行っており、令和4年度から本格工事を始める予定である。新校舎の完成にあわせ令和7年度に開校する予定としている。 ・小中一貫教育のメリットは何か。 ・9年間を見通した教育課程となることである。学校行事や教科のカリキュラムを見直した。1年生から9年生までが交流できることも大きなメリットであると考えている。 ・9年間を3つのステージに分け、それぞれの節目を大切にしたい教育を推進するための取組を進めている。
座長 参事	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教員が小学校の授業を行うこともあるのか。 ・中学校の教科の免許を持った教員が小学校5・6年の授業を行うこともある。反対に、小学校の教科の免許を持った教員が中学校の授業を行うことも進めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・通番15環境対策事業の一次評価がBとなっているが、Aとならなかった理由は何か。他の事業は新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施されなかった場合でもAとなっている。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対策事業のうちの1つである触れる地球について、今後続けていくべきかという方向性も検討していく必要があることからBとした。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・通番15の環境対策事業の評価のみがBであり、他の34項目は全てAである。一次総合評価をBとした理由は何か。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの満足度などKPIの結果が目標を達成していないこと、取組評価に▲があることから、一次総合評価をBとした。

委員	・アクションプランの予算執行率を評価基準にするべきではないのではないか。
部長	・予算の執行率で評価をしているのではなく、事業の進捗状況や取組成果で評価をしている。
座長	・一次評価はBであるがBでよいか。
座長	「異議なし」
座長	・二次評価もBとする。
	<p>■施策4 教育環境の充実</p>
委員	・発達障害の児童・生徒の割合はどれくらいか。
所長	・割合は把握していない。
委員	・児童・生徒の自立割合とはどういう割合か。
所長	・支援が必要な児童・生徒に対する支援内容をまとめたサポートファイルがあり、支援が不要になったことでサポートファイルの作成が不要になった児童・生徒の割合である。
座長	・自ら学ぶ力をつけることは大切である。次期総合戦略の方向性で継続となっているが、拡充の予定はあるのか。
参事	・大事な部分であるため、今後の方向性については検討していく。
委員	・一次総合評価が平成30年度、令和元年度ともにAであるが、令和2年度の一次評価がBになっている理由は何か。
部長	・発達サポートセンターでの相談体制について、適切な時期に相談できる体制の整備に課題が残るためBとした。
委員	・適切な時期に相談できないのは相談受入体制の問題なのか。
所長	・そうである。適切な時期に相談できていない方の相談を市の職員が受けるのか、外部に依頼するのかを今後検討していく。
委員	・発達サポートセンターへの相談件数の目標が毎年100件ずつ増えているが、この相談件数はどのような目的で設定しているのか。
部長	・講演会等で発達障害を知っていただくことで、多くの方の相談につなげたいという目的で設定している。
座長	・一次評価はBであるがBでよいか。
座長	「異議なし」
座長	・二次評価もBとする。
	<p>○基本目標④ 安全・安心で快適な住みよいまちづくりについて事務局より説明</p> <p>■施策1 より住みよいかとうの推進</p>

委員	・交通手段の確保に対する市民の満足度の目標を50%にした理由は何か。
課長	・第1次総合計画の中でも目標を50%としていたが、目標の達成に至らなかったため、第2次総合計画前期基本計画でも再度50%に設定した。令和2年度の市民アンケートでは満足度が53.8%となったが、内訳としては普通と回答した割合が多かった。
委員	・市民アンケートで不満と回答された方が何に対して不満を持っているのかを把握しておく必要がある。
課長	・公共交通の空白地の解消を目的に自家用有償旅客運送（自主運行バス）を導入してきたが、運転手の確保等の課題があるため導入できなかった地域がある。また、社市街地で乗合タクシーの運行を開始したが、認知度が低いことが課題としてあげられる。まだ市内に多く残る公共交通の空白地を解消していくことが必要であると考えている。
委員 部長	・公共交通のニーズはどのようにして把握しているのか。 ・今年度策定を予定している地域公共交通計画の作成に当たりアンケート調査を実施した。アンケートの結果をふまえ、当該計画の中でしっかり対応していく。
委員 部長	・この施策の最終目標に対する現在の進捗状況はどうか。 ・バスターミナルの整備や高速バスの新規路線運行など公共交通については予定通り進んでいる。土地利用促進については相手方がある事業でもあり目標達成が厳しい状況であるが、目標を高めに設定していたこともあり、想定内の進捗であると考えている。
座長	・一次評価はBであるがBでよいか。 「異議なし」
座長	・二次評価もBとする。
委員	■施策2 安全・安心で快適なまちづくり ・KPIに設定しているかかりつけ医をもつ割合がアクションプランのどの事業と関連しているのか。
参事	・通番5保健衛生事務事業や通番6地域医療体制整備事業が関連しており、事業の中でかかりつけ医を持っていただくための働きかけに取り組んでいる。
委員	・かかりつけ医を持つ重要性についてさらに市民に周知していく必要があると思う。
参事	・加東市民病院や医師会と連携して制作した啓発番組の加東ケーブルビジョンでの放送や、市広報紙、県パンフレット等を活用して周知を行って

	<p>いるが、K P I の目標達成に向けて分かりやすく伝えていく工夫が必要であると考えている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策の満足度の数値目標結果に対する評価の中に、「安全・安心なまち」としてPRしていくとあるが、どのようにPRしていくのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・災害は想定以上のことが起こってくるため、防災対策が完了しているというPRは過大評価になってはいけないためできないが、一般的な災害に対してはどのような対策ができているかをPRしていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の備蓄や避難場所の整備は完了しているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄については、地域防災計画の中で市が備蓄するものと市民が備蓄するものを定めており、市民が備蓄するものについては、地域の自主防災訓練などで備蓄の必要性について周知を行っている。 ・避難所については、令和2年度に風水害ハザードマップを更新し、その中に避難所の場所を記載している。風水害は収容可能人数を計算しているが、地震は避難所が不足しているため、市内企業の施設を避難所に活用できるよう連携協定の締結を進めている。防災対策に終わりはないため、今後も計画的に進めていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今進めている防災対策が十分なPRになると思う。市のホームページ上でPRしているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上でハザードマップを掲載しており、県が運用しているアプリからもハザードマップを見ることができる仕組みになっている。迅速かつ的確な情報を市民が受け取れるようPRをしていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携協定についてはPRしていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの問題はあるが、カメラで河川を監視していることをホームページ上で見ることができるようにしていただきたい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に起こっている災害がいつ加東市に起こるかわからないということも含めて、防災対策のPRに取り組む。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎断層の影響はあるのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎断層の東の端が滝野地域の方にかかっていること、鴨川地区へ向かう国道372号に御所谷断層があることを懸念している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先日和歌山市で水道管が断裂する事故があったが、同様の事故が加東市で起きた場合に最大何名が被災するのか想定しているのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎断層地震の場合ではあるが、加東市で約9,000名の避難者が出ると想定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市が備蓄しているものがどれくらいあって何日間分なのかなどの情報を企業に提供いただくことで、企業も協力しやすくなる。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市においては、3万食の食料を備蓄している。連携協定を締結している

座長	事業所と協力してローリングしながら対応している。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線戸別受信機の設置率が少し下がっている要因をどのように分析しているか。 ・集合住宅はオーナーの考えにより設置いただけない場合があり、集合住宅に入居される方も多いため設置率が下がっている。 ・インターネットやスマートフォンが普及している一方で、高齢者の家庭は防災行政無線に頼る割合が高くなっている。それぞれに合った方法で情報を受け取っていただけるよう、複数の媒体を活用しながら情報を発信していきたい。
座長 部長	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市民病院の経営健全化に今後どのように取り組むのか。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により一時患者数が減ったが、最近では患者数が戻ってきている。 ・訪問診療や訪問看護、また附帯施設のケアホームかとうとあわせて経営健全化に取り組んでいく。 ・加東市民病院だけで解決するのではなく、圏域内で解決する医療を目指している。
委員 部長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市民病院に産科はあるのか。 ・婦人科はあるが産科はない。 ・妊娠・出産において産科医がいると安心なため、産科医の常勤について検討してほしい。
部長 座長 部長	<ul style="list-style-type: none"> ・産科については医師会が中心となって検討していく。 ・産科以外の医師確保はできているのか。 ・公立病院が新しく医師を確保することで市内の開業医院の経営を圧迫してはいけないため、どれくらい需要があるのか、また、加東市民病院の経営状況もみながら医師確保に取り組む。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・一次評価はBであるがBでよいか。 <p style="text-align: center;">「異議なし」</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・二次評価もBとする。
座長 参事	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットがいじめに使われた事例があったが、加東市は大丈夫か。 ・全学校で情報モラル研修会等を行って指導をしている。また、市教育委員会で履歴を全て確認できる仕組みになっており、これまでも不適切な発言の投稿がいくつかあったが、大きな問題には至っていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のどこかの学校でいじめや先生の問題があった際に市内の全小中学校に周知してもらえると保護者も気を付けることができるが、そのよう

参事	<p>な仕組みにはならないのか。</p> <ul style="list-style-type: none">・各学校と情報を共有しながら対策を取っている。大きな影響を与える事案については周知の必要もでてくると思うので、意見も聞きながら今後の方針を検討していく。 <p>5 閉会</p>
----	---